



多摩地区における公立小・中学校教育の 更なる発展を目指して

東京都多摩教育事務所長

桐 山 靖 彦

日頃から、多摩教育事務所の諸事業について御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。

昨今、社会状況の変化を背景に、子供たちの「生きる力」の基盤となる学力向上や豊かな心の育成、体力向上など、学校教育における課題は、一層複雑で多様なものになってきています。

本年度、多摩教育事務所では、東京都教育ビジョン（第 2 次）及び「2020年の東京」への実行プログラム等を踏まえ、「知・徳・体をバランスよく育み、次代を担う子供たちを育成する多摩教育事務所」という組織目標を設定しました。市町村教育委員会との連携を通して、多摩地区の全ての子供たちを対象として、確かな学力の定着や健全育成、体力の向上など、様々な教育課題の解決に向けて取組を展開しています。

昨年度の多摩地区における研究指定校の研究主題を分析しますと、実に全体の約 4 割の学校で「伝え合い」「学び合い」「コミュニケーション」等を通して思考力等を高める研究に取り組んでいたことが分かります。現代は「知識基盤社会」と言われています。社会の構造的な変化に対応できる「生きる力」、すなわち、幅広い知識や柔軟な思考、これに基づく適切な判断及び表現が求められているためであると思います。児童・生徒一人一人に、思考力・判断力・表現力等を育むことは、とりも直さず「生涯にわたって生きて働く力」を授けることとなります。

多摩教育事務所の事業の一つである「多摩地区教育推進委員会（通称「多摩推」）でも、これまで「言語活動の充実」「コミュニケーション」等について提言を行ってきました。今年度は「クリティカル・シンキング」をテーマとして、子供たちが多様な観点から考察することで思考の質を高めていくことができるよう、実践的な研究を進めています。いずれも子供たちの思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに大いに参考となる内容であると自負しております。ぜひ、本研究の内容を各学校で積極的に御活用いただきたいと思います。

多摩教育事務所では、これからも、豊かな自然に恵まれ、夢と希望にあふれた多摩地区の更なる発展と、子供たちのより一層の健やかな成長を願い、各教育委員会と連携しながら、多摩地区 664 校の公立小・中学校における教育の充実と発展に取り組んでいきます。

◇ ◇ 目 次 ◇ ◇

【巻頭言】	多摩地区における公立小・中学校教育の更なる発展を目指して……………	1
【特集】	教育課程の適正な実施に向けて～日々の授業を見直してみましよう～……………	2～5
【研修】	子供の心のサインをつかみ、指導に生かしましよう……………	6
【情報】	平成 24 年度多摩地区における国・東京都研究指定校等一覧……………	7
【情報】	平成 24 年度東京都多摩教育事務所の主な事業紹介、多摩推フォローアップ事業の紹介……………	8

本号は東京都多摩教育事務所ホームページからダウンロードすることができます。（提供するファイルは PDF ファイルのデータです。）
御希望の方は、東京都多摩教育事務所指導課のホームページにアクセスしてください。 <http://www.tamajimu.metro.tokyo.jp>

小学校 教育課程の適正な実施に向け

いよいよ小・中学校共に新学習指導要領が全面実施となりました。多摩地区の各小・中学校においては、課程が編成されたことと思います。新年度のスタートから3か月がたった今、教育課程の実施状況についてそこで本号では、小・中学校における各教科の主な見直しの視点を掲載します。各学校の校内研修会や

国語

各教科等の学習に生きて働く言語能力の育成

三領域のバランスのとれた指導

音声言語と書くことに関する指導を計画的に実施していますか？

話すこと・聞くこと		読むこと		書くこと	
学年	年間時数	学年	年間時数	学年	年間時数
1・2	35時間程度	1・2	※適切な確保	1・2	100時間程度
3・4	30時間程度	3・4	100時間程度	3・4	85時間程度
5・6	25時間程度	5・6	65時間程度	5・6	55時間程度

※ 第1・2学年の「読むこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、学習指導要領に示す事項を十分に実現するために必要な時数を確保する。

書写(毛筆)の指導

適切な時数で実施していますか？

- ◆第3学年以上の各学年
 - ・年間30時間程度実施する。



社会

我が国の理解の深

地球儀等を活用した授業

地球儀等の資料を効果的に活用していますか？

- ◆第5学年
 - ・我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的に捉え、意味について考える。
- ◆第6学年
 - ・我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象を具体的に捉え、意味をより広い視野から考える。



理科

見通しをもって観察、実験を行わせ、科学的な見方や考え方を育成

観察、実験の充実

観察、実験、飼育、栽培を計画的に取り入れていますか？

学年	内容
3	・3種類以上のものづくり
4	・2種類以上のものづくり ・1年を通して動物と植物を各2種類以上観察
5	・2種類以上のものづくり
6	・2種類以上のものづくり

- 意図的・計画的な
 - ◆観察、実験
 - ◆ものづくり
 - ◆飼育、栽培

実感を伴った理解

体験的な活動の重視

野外に出掛ける活動を実施していますか？

- ◆実感を伴った理解を図る学習活動

自然環境の保全に寄与する態度



音楽

基礎的な味わって

「我が国の音楽」の指導

歌唱教材と鑑賞教材を適切に取り扱っていますか？

- <歌唱教材>
 - ◆共通教材の他
 - ・長い間親しまれてきた唱歌、わらべうたや民謡など、日本のうたを含めて取り上げる。

- <鑑賞教材>
 - ◆第3学年から第6学年まで
 - ・和楽器の音楽を含めた我が国の音楽を扱う。

生活

身近な人々等との交流及び生き物に親しみ、大切にしている体験を通した気付きの質的な高まり

「生活や出来事の交流」の指導

単元として設定するなど、適切な指導を行っていますか？

- ◆他の内容との関連を図り、単元として構成していく。
 - ・自分と人や社会との関わり
 - ・自分と自然との関わり
 - ・自分自身との関わり

飼育、栽培の指導

2学年にわたって飼育と栽培に取り組んでいますか？

- ◆一時的・単発的な動植物との関わりには止まるのではなく、継続的に飼育と栽培の両方を行う。
 - ・自然事象に接する機会
 - ・生命の尊さを実感する体験

家庭

家庭生活

「家庭生活と家族」の指導

2年間の学習の見通しを立てさせていますか？

- ◆「自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付くこと」

第5学年の最初に履修

て～日々の授業を見直してみましよう～

法令や学習指導要領の内容について十分理解するとともに、創意工夫を加え、学校の特色を生かした教育で、学校として組織的に見直すことが重要です。
教科部会、学年会等で御活用ください。

国土と歴史に対する 化及び愛情の醸成

代表的な文化財を取り上げた指導

国宝や重要文化財、世界文化遺産に登録されているものを取り上げていますか？

- ◆第6学年
我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きとともに代表的な文化遺産を取り上げ学習できるようにする。
・我が国の伝統や文化を大切にしようとする態度を育てる。

算 数

数学的な思考力・表現力の育成

問題解決の方法を説明する活動の充実

自分の考えを表現する活動を取り入れていますか？

- ◆言葉や数、式、図、表、グラフなど様々な表現の方法を用いて考えたり、自分の考えを説明、表現したりする学習活動を充実させる。



算数的活動の充実

各領域で指導していますか？

- ・数の意味と表し方
・量の単位と測定について
・図形の意味と性質 } (意味を) 理解する
- ・数についての
・量の大きさについての
・図形についての } 感覚を豊かにする
- ・計算の仕方や面積の
・言葉や数等を用いて } 求め方を考え説明する
- ・数量についての事柄を、言葉や式、図、表、グラフなどによって表現する。
・二つの数量の間の変化や対応を調べる。

鑑賞の力及び音楽を 聴く態度を育成

音楽づくりの活動の充実

「音楽づくり」の活動を計画的に指導していますか？

学年	内 容
1・2	・音遊びをする。 ・簡単な音楽をつくる。
3・4	・音の響きや組合せを楽しんで即興的に表現する。 ・思いや意図をもって音楽をつくる。
5・6	・いろいろな音楽表現を生かして即興的に表現する。 ・音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくる。

図 工

感性を働かせながら進んで 表したり見たりする態度の育成

伝えたいことを表す活動の充実

伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動を取り入れていますか？

- ◆育成すべき資質や能力
・発想・構想の能力
・表現の技能
- ◆学習活動や表現方法などに幅をもたせる。
・自分に適した表現方法や材料、用具を選ぶことができるようにする。



感じたことを伝え合う活動の充実

感じたことを話したり聞いたりする活動を取り入れていますか？

学年	内 容
1・2	形や色の面白さ、材料の感じなどに気付く。
3・4	表し方の違いや材料の感じなどが分かる。
5・6	表し方の変化や意図、特徴などを捉える。

の基礎となる能力の育成

「日常の食事と調理の基礎」の指導

調理に関心をもち、計画的に実施していますか？

- ◆栄養を考えた食事の指導
・五大栄養素を扱う。
- ◆調理の基礎の指導
・米飯とみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることに触れる。

体 育

体を動かす楽しさや心地よさの実感 及び健康の保持増進に係る理解の深化

「体づくり運動」の指導

全学年で計画的に指導していますか？

- ◆全学年で必ず指導
・第1～4学年：体の基本的な動き
・第5・6学年：体力の向上
- ◆一つの領域として計画的に指導
・他領域の準備運動で置き換えることのないように指導・評価を行う。

「保健」の計画的な実施

知識を活用する学習活動を計画的に取り入れていますか？

学年	2年間の時数	内 容
3・4	8時間程度	・健康の大切さ、健康による生活の仕方 ・体の発育、発達
5・6	16時間程度	・心の発達及び不安、悩みへの対処 ・けがの防止、簡単な手当 ・病気の予防

中学校 教育課程の適正な実施に向け

国語

各教科等の学習に生きて働く 言語能力の育成

三領域のバランスのとれた指導

音声言語と書くことに関する指導を計画的に実施していますか？

話すこと・聞くこと		読むこと		書くこと	
学年	年間単位数	学年	年間単位数	学年	年間単位数
1	15～25単位程度	1	75～95単位程度	1	30～40単位程度
2	15～25単位程度	2	75～95単位程度	2	30～40単位程度
3	10～20単位程度	3	55～75単位程度	3	20～30単位程度

硬筆及び毛筆を用いた書写の指導

適切な時数で実施していますか？

- ◆第1・2学年
 - ・年間20単位程度実施する。
- ◆3学年
 - ・年間10単位実施する。

社会

観察・調査 め、調べ考

「日本の様々な地域」の指導

身近な地域について観察や調査などの活動を行っていますか？

- ◆社会参加の視点を取り入れた身近な地域の調査の実践
 - ・公民的資質の基礎を養う観点から
 - ・生活している地域に対する理解と関心を深め、その発展に努力しようとする態度を育てる。

理科

科学的に探究する学習活動を通じた 思考力、表現力の育成

観察、実験の指導

目的意識をもって観察や実験を行っていますか？

学年	内容	
1	第1分野:1・2種類 第2分野:6種類	}以上の観察、実験
2	第1分野:1・3種類 第2分野:7種類	
3	第1分野:1・3種類 第2分野:8種類	}以上の観察、実験

※ものづくりや調べ学習を効果的に取り入れる。

思考・表現の指導

主体的で探究的な活動を取り入れていますか？

- ◆自ら問題を見だし、仮説を考えたり、観察、実験を計画したりする学習活動
- ◆観察、実験の結果を分析し、解釈する学習活動
- ◆科学的な概念を使用し、考えたり説明したりする学習活動



音楽

音楽活動 音楽文化

「我が国の音楽」の指導

歌唱共通教材や和楽器を適切に取り上げていますか？

- ◆歌唱共通教材 各学年で1曲以上
「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」「夏の思い出」「花」「花の街」「浜辺の歌」
- ◆和楽器
 - ・3年間を通じて1種類以上
 - ・我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わう。

技術・家庭

進んで生活を工夫・創造する能力の育成

3学年を見通した指導

内容A～Dについて適切に指導していますか？

- ◆技術分野A～D
 - ・現代社会に活用されている多様な技術
 - ◆家庭分野A～D
 - ・小学校家庭科の内容との体系化
- ※「生活の課題」に関する指導事項は1又は2事項を選択

選択ではなく、全ての生徒が履修

小学校における学習を踏まえた指導

小学校の図画工作、家庭を踏まえて指導をしていますか？

- ◆技術分野
「A材料と加工に関する技術」の(1)
- ◆家庭分野
「A家族、家庭と子供の成長」の(1)
 - ・中学校における学習の見通しを立てさせるために、第1学年の最初に履修させる。

保健体育

心と体を 健全な育

適正な単位数による各分野の計画的な指導

学習体験を基に、探求したい運動を選択させていますか？

- ◆体育分野 3年間で267単位程度
 - ・領域A体づくり運動：各学年で7単位以上
 - ・領域B～G：第1・2学年で全領域履修、第3学年では選択して履修
 - ・領域H体育理論：各学年で3単位以上
- ◆保健分野 3年間で48単位程度

本特集の活用例

- ・日々の指導の振り返りの視点として
- ・授業時数の確認のために
- ・週ごとの指導計画の作成に係る資料として
- ・指導内容に漏れがないかの確認のために

て～日々の授業を見直してみましよう～

や見学を行い、必要な情報を集めたことを表現する力の育成

「民主政治と政治参加」の指導

調査や見学などを行っていますか？

- ◆住民自治を基本とする地方自治の考え方について理解させたり、主権者として政治に参加することの意義について考えさせたりする。
- ・身近な地方公共団体の政治について取り上げる。

数 学

数学を学ぶことの楽しさや意義を 実感するスパイラルな学び

知識・技能の定着

知識・技能の定着を図るために、小学校との関連を意識していますか？

- ◆小学校で培われた素地を中学校で活用
 - ・文字を用いた式の活用
 - ・図形の対称性（6年）を根拠とした基本的な作図の指導

「学び直し」の指導

必要に応じて既習の内容を再度取り上げていますか？

- ◆生徒の学習を確実なものにするために
 - ・新たな内容を指導する際は、既に指導した関連する内容を意図的に再度取り上げる。



を通した についての理解の深化

「鑑賞」における言語活動の充実

言葉を用いて表現する主体的な活動を取り入れていますか？

- 音楽の構造などを根拠として述べつづ、感じ取ったことや考えたことなどを、言葉を用いて表現する。
- ◆第1学年 言葉で説明する。
 - ◆第2・3学年 根拠をもって批評する。

美 術

発想や構想、創造的な能力の育成

多様な表現方法の活用の充実

多様な表現方法を活用できるようにしていますか？

- ◆日本及び諸外国の独自の表現形式
 - ・国や地域などによる表現の違いや特色に気付かせ、自分の表現に取り入れるなどして表現に幅をもたせる。
- ◆(例) 漫画、イラストレーション、図
 - ・表現する対象や目的に応じて、形と色彩の調和や効果を考へて表現させる。

他者と学び合う活動の充実

表現のよさなどを認め尊重し合う活動を取り入れていますか？

- ◆話し合うこと
 - ・議論・交流する力を育てるとともに、自己肯定感と制作への意欲を高めることにつなげる。
- ◆共同で行う創造活動
 - ・制作過程での話し合いを重視し、分担した活動を経験させる。

一体として捉えた 成の促進



保健分野の適正な指導

健康・安全に関する内容を計画的に指導していますか？

- ◆防災の有効性を高めるための二次災害によって生じる傷害の防止
 - ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、地震に伴って津波、土砂崩れ、地割れ、火災などによる二次災害によって生じる。
 - ・傷害の防止のために災害に備える。
 - ・安全に避難することに加え、事前災害情報を把握する。
- ◆医薬品の正しい使用

外国語

聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなど に関するコミュニケーション能力の育成

コミュニケーション能力の「素地」から「基礎」へ

小学校の外国語活動での学びを十分把握し、生かしていますか？

- ◆外国語活動で育成された「話すこと」「聞くこと」を中心とする「素地」
- ◆「読むこと」「書くこと」を加えたコミュニケーション能力の「基礎」

適切な話題を設定した指導

各学年に適した話題を取り上げていますか？

学年	話 題
1	自分の気持ちや身の回りの出来事など
2	事実関係を伝えたり、物事について判断したりした内容など
3	様々な考えや意見など

- ・系統的な指導につなげるために
- ・授業観察の視点として
- ・校内研修会、教科部会及び学年会等の資料として
- ・研究授業の参観の視点として など

子供の心のサインをつかみ、指導に生かしましょう

日頃、子供たちは、私たち教師に様々な心のサインを発しています。それらのサインを的確につかみ、指導に生かすことが、今、極めて重要になっています。そのため教師は、子供がいつ、どのようにして、何をサインとして発するのか、それらのサインをいかに指導に生かせばよいのかについて理解を深めることが必要です。その上で、子供一人一人に寄り添い、親身になって話を聞き、丁寧に対応することが肝要です。

そこで、教師として知っておきたい子供たちのサインを見取るポイントを掲載します。各学校の学年会、生活指導部会、職員会議等の資料として御活用ください。

いつ	どのようにして	どのようなことから	何をつかみ	どのように指導するのか
<p>登校時</p> <p>授業中</p> <p>休み時間</p> <p>給食の時間</p> <p>清掃の時間</p> <p>部活動</p> <p>下校時</p>	<p>子供のサインをつかむ三つの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎見る ◎聴く ◎読む <p><見る> 注意深く子供を見つめましょう。いつもとは違う、子供の様子、表情、言動などからサインを読み取ります。</p> <p><聴く> 日頃の会話や、やりとりの中から、子供の思いを知りましょう。子供の語る何気ない話の中から、気持ちや考え方、また、その変化の様子が分かります。</p> <p><読む> 作文や健康調査票などから、子供の心を捉えましょう。授業での作文やノート等の記述の中にも、子供の思いや訴えが込められています。</p>	<p>子供から発せられる三つのサイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆言葉や行動に見られるサイン ◆表情や態度に見られるサイン ◆身体に見られるサイン <p><言葉や行動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をしなくなる。 ・一人で登校するようになる。 ・遅刻や早退が増える。 ・一人きりである。 ・孤立している。 ・友達と関わりが見られなくなる。 ・友達と遊ばなくなる。 ・忘れ物が増える。 ・宿題をしなくなる。 ・教師から離れない。 ・攻撃的・衝動的な行動 ・「遠くに行ってしまいたい」「生きているのが辛い」など絶望感を訴える。 ・死についての文章を書いたり絵を描いたりする。 <p><表情や態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを気にしなくなる。 ・授業に集中しなくなる。 ・無気力になる。 ・笑顔がなくなる。 ・投げやりな態度が見られる。 ・憂うつな表情をする。 ・不機嫌でイライラしている。 ・顔色が優れない。 ・表情にこわばりがある。 ・急に成績が下がる。 <p><身体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の不調を訴える。 ・保健室や職員室に行く回数が増える。 ・疲れている様子である。 ・眠れない様子である。 ・食欲が急に落ちる。 ・体重が減少している。 	<p>家族関係の悩み</p> <p>自分自身に関する悩み</p> <p>成績や進路に関する悩み</p> <p>友達関係の悩み</p> <p>部活動等に関する悩み</p>	<p>(1) 声をかける 「どうしたのかな、元気がないようだけど」などと声をかけ、落ち着ける場所で話を聴く。</p> <p>(2) 丁寧に話を聴く 子供がなかなか話し出そうとしないとき、じっくり待つ。「話しにくいかな」など子供の気持ちを押し量りながら話しかける。子供が話し始めたら、「声のトーン」「表情」「身振り」「姿勢」などに注目し、一つ一つの言葉を丁寧に聴く。「生きていても意味がない」「死にたい」などと語った場合、即座に否定しない。</p> <p>(3) 心の奥を理解する 「生きていても意味がない」という気持ちの中に、死にたくなるほどの何かが隠されている。「どうしてそう思うようになったのかな」と聴く。その中から更に、そう思わざるを得ない状況や、どうにもならない気持ちや苦しさを聴いていくなどし、子供の心の奥を理解していくよう努める。</p> <p>(4) 子供の気持ちを受け止める 吐露された気持ちや心情について「あなたはそういうことを経験して、辛くなったんだね」などと共感的に受け止める。「大丈夫だよ、皆も同じだよ」といった安易な励ましや慰めは、子供に「どうせ分かってもらえない」と思わせてしまうので、禁物である。</p> <p>(5) 教師の気持ちを伝える 子供が苦しい心境を語ったときは、まずはその気持ちとその背景にある事実を受け止める。落ち着いたところで、「私はあなたのことをずっと応援し続けていく。辛いときには気軽に相談してほしい」と、教師自身の気持ちを誠心誠意伝える。</p> <p>(6) 保護者の理解の必要性を伝える 子供は、保護者に心配をかけたくない、話しても分かってもらえないなどと思い、辛さを伝えていないことが多い。親子関係によって話せない場合もある。そうした状況を受け止めながら、「(保護者に)話して少しでも理解してもらおう」と伝える。子供の不安な気持ちを支えながら、自分から伝えられなければ、教師が代わって伝えることを話す。</p>

組織的かつ開かれた取組

学校の組織的な取組

- ・一人で抱え込まずに管理職に報告する。
- ・関係の教職員が集まり、事例検討会をもつ。
- ・教職員間で役割を決め、柔軟に対応する。

保護者との連携

- ・子供の様子を伝え、家庭での様子を聞く。
- ・専門機関を紹介する。

専門機関との連携

- ・専門機関の助言を活用する。
- ・専門機関との継続的な連携を図る。

平成 24 年度 多摩地区における国・東京都の研究指定校等一覧

平成24年度多摩地区における国・東京都の研究指定校等を一覧にしました。各校の研究成果を校内研究や研修会等に御活用ください。

【国の研究指定校等】

名 称	学 校 名 等
コミュニティ・スクール推進事業	武蔵村山市立 第四小、第八小、第二中
コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究事業	国分寺市立 第七小、第八小(※申請中)
栄養教諭を中核とした食育推進事業	小平市立 小平第六小
人権教育研究指定校	武蔵村山市立 第一小、第一中 西東京市立 東伏見小
学習指導実践研究協力校	町田市立 町田第四小
教育課程研究指定校	町田市立 鶴川第二小
教育課程特例校	東村山市立 東村山第三中学校萩山分校

【東京都の研究指定校等】

名 称	学 校 名 等
人権尊重教育推進校	八王子市立 第三小、元八王子東小 三鷹市立 第二中 府中市立 府中第三小 小金井市立 小金井第二中 日野市立 日野第七小 東村山市立 東村山第七中 福生市立 福生第二小 狛江市立 緑野小 清瀬市立 清瀬第五中 稲城市立 稲城第三小 西東京市立 保谷小 瑞穂町立 瑞穂中
習熟度別少人数指導実践研究推進校	武蔵野市立 第三小 青梅市立 第二中 調布市立 緑ヶ丘小 東久留米市立 第一小、中央中 武蔵村山市立 第三小
安全教育推進校	小平市立 小平第四小 あきる野市立 増戸小、増戸中
「自尊心や自己肯定感を高める教育」推進校	町田市立 町田第五小 小平市立 花小金井南中 清瀬市立 清瀬第三中
発達障害のある児童・生徒の指導方法の研究開発事業	立川市立 第七小
「自閉症・情緒障害学級」の教育課程の研究協力校	国分寺市立 第四小 清瀬市立 清瀬第七小
生活習慣や運動習慣等定着に関する実践研究モデル校	八王子市立 櫛田小 国分寺市立 第七小 武蔵村山市立 第七小
公立小・中学校土曜日補習の充実に係る外部指導者活用事業	昭島市立 拝島中 武蔵村山市立 第八小
OJT推進指定モデル校	青梅市立 第四小学校、河辺小学校 福生市立 福生第六小 狛江市立 狛江第二中 清瀬市立 清明小 武蔵村山市立 第一小、第五中
1日60分運動・スポーツ小学校総合運動部活動実践モデル校	八王子市立 浅川小 清瀬市立 芝山小 武蔵村山市立 第十小
理数教育振興研究協力校	府中市立 府中第一小 昭島市立 成隣小 調布市立 布田小、第四中 町田市立 忠生小 国分寺市立 第一小 東久留米市立 第二小
言語能力向上推進校	八王子市立 第二小、第七小、東浅川小、由木中央小、松が谷中 立川市立 立川第二中 三鷹市立 北野小 青梅市立 第一中 府中市立 府中第二小、府中第七小、本宿小、矢崎小、府中第一中、府中第三中、浅間中 昭島市立 拝島第一小、拝島第三小、田中小、つつじヶ丘北小、つつじヶ丘南小

【東京都の研究指定校等】

名 称	学 校 名 等
言語能力向上推進校	調布市立 北ノ台小、富士見台小 町田市立 町田第二小 小平市立 小平第三小、上水中 日野市立 日野第三小、日野第六小、日野第八小、七生緑小 東村山市立 久米川東小、青葉小 国立市立 第五小 狛江市立 狛江第三小、狛江第六小 東大和市立 第五中 清瀬市立 清瀬第三小、芝山小 東久留米市立 第三小 武蔵村山市立 第二小、第三小、第七小、第八小、第十小、雷塚小、第三中、第四中、第五中 多摩市立 永山小、大松台小、落合中、稲城市立 稲城第一小、稲城第三中 羽村市立 小作台小 あきる野市立 屋城小 西東京市立 保谷第二小、泉小、碧山小、明保中、保谷中 瑞穂町立 瑞穂第一小、瑞穂第三小、瑞穂第五小 日の出町立 平井小、本宿小 檜原村立 檜原小 奥多摩町立 氷川小、古里小、氷川中
スポーツ教育推進校	八王子市立 第五小、第六小、横山第二小、城山小、浅川小、東浅川小、松木小、由木中央小、ひよどり山中、館中、打越中 立川市立 第一小、第三小、西砂小、柏小、立川第九中 武蔵野市立 大野田小 三鷹市立 第二小、高山小、井口小、東台小、第二中 青梅市立 第四小、霞台小、河辺小、今井小、西中、第七中 府中市立 府中第七小、府中第十小、四谷小、南町小、府中第一中、府中第三中、府中第八中 昭島市立 富士見丘小、東小、光華小、田中小、拝島第一小、拝島第三小、昭和中 調布市立 第三小、深大寺小、染地小、飛田給小、第七中 町田市立 本町田小、小川小、山崎小 小金井市立 小金井第四小、東小、本町小、南小 小平市立 小平第十二小、小平第十四小、上宿小、花小金井南中 日野市立 日野第六小、滝合小、東光寺小、日野第一中 東村山市立 青葉小、野火止小、東村山第一中 国分寺市立 第四小、第七小、第八小 国立市立 国立第一小、国立第六小 福生市立 福生第一中 狛江市立 和泉小 東大和市立 第三小、第五小 清瀬市立 清瀬小、清瀬第三小、清瀬第七小、清瀬第八小、芝山小、清瀬中、清瀬第二中、清瀬第五中 東久留米市立 第六小、第十小、南町小 武蔵村山市立 第一小、第二小、第三小、第八小、雷塚小、第三中、第四中、第五中 多摩市立 多摩第一小、多摩第二小、東愛宕小、連光寺小、西落合小、大松台小、諏訪小、東落合小、貝取小、豊ヶ丘小、和田中、聖ヶ丘中、青陵中 稲城市立 稲城第七小、稲城第四中 羽村市立 富士見小、小作台小、武蔵野小 西東京市立 田無小、保谷第一小、栄小、上向台小、住吉小、保谷中、青嵐中 瑞穂町立 瑞穂第二小、瑞穂第四小 日の出町立 平井小、平井中 奥多摩町立 氷川小

※ 小学校は「〇〇小」、中学校は「〇〇中」と表記しています。
※ 平成24年6月1日現在の情報を記載しています。

平成24年度 東京都多摩教育事務所の主な事業紹介

東京都多摩地区教育推進委員会（多摩推）

【研究主題】

クリティカル・シンキングを取り入れた授業づくり

—より高次の「知的創造」を目指して—

急速に進展する社会の情報化・国際化等を背景として、情報を取捨選択し活用する力、筋道立てて物事を考える力、豊かな発想を基に創造する力などを身に付けることが、極めて重要な課題となっています。そのため、今年度は、より高次の知的創造をねらいとする、クリティカル・シンキングを取り入れた授業の在り方について追究し、実践事例を基に提言を行います。

【報告会】

- 日時 平成25年2月15日（金）14:00～16:30
- 会場 東京都多摩教育センター ホール
- 講師 帝京科学大学教授 有村 久春 先生



多摩推の研究成果について、校内研修会で指導・助言を行っています。

昨年度は、授業や日常生活の場面におけるコミュニケーションについて研究を行いました。「報告内容等について話をしてほしい」といった要望がありましたら、東京都多摩教育事務所へ御連絡ください。

<平成23年度>

コミュニケーションの充実を図る
教育活動の推進

—協同的な関係を築き、
集団としての学習力を高めるために—

東京都多摩教育事務所 指導課

職名	氏名	担当
指導課長	儘田 文雄	学校経営、教育課題、国語
統括指導主事	児玉 大祐	学校経営、教育課題、社会
指導主事	川元 泰史	教育課程、理科、特別活動
指導主事	泉田 巧人	体育、保健体育、外国語活動、外国語、特別支援教育
指導主事	浅野 あい子	国語、算数、数学、生活、技術・家庭、道徳
指導主事	上田 飛鳥	社会、音楽、総合的な学習の時間
指導主事(併任)	飯星 健司	算数、数学
指導主事(併任)	吉岡 琢真	図画工作、美術
指導主事(併任)	拝原 茂行	体育、保健体育
教育専門員	村井 恒	算数、数学
教育専門員	鈴木 文雄	社会
教育専門員	高濱 俊光	体育、保健体育

お役立てください「都教委訪問」

学校の課題解決に向けた指導・助言を行います。
多摩教育事務所まで御相談ください。

次号
予告

所報「たまじむ」第2号 特集：言語活動の質の向上を目指して
クリティカル・シンキングを取り入れた授業づくり（多摩推の中間報告）他